

# 令和4年度 事業報告書

## (1) 法人としての取り組み

### ①保育の発信力強化

ChildCareWebで写真を活用したドキュメンテーションの習熟が進んだ。また、外部講師を招き、オンラインでドキュメンテーションの研修をおこない、ドキュメンテーションの理解を深めることが出来た。研修の中で、ドキュメンテーションの本来の役割は、内部資料による保育の質の向上にある、ということ学ぶ。今後は保育の質向上のためにも活用していきたい。

### ②保育業務の標準化、中堅職員の育成

園内研修における年間のテーマを「保育業務の標準化・マニュアル作り」とし、作成を進める。一年間取り組むことで、各年齢のクラス運営マニュアルが完成した。これを使用することで、スムーズに業務内容が把握できるようになる。また、日々の保育の進め方やあり方を振り返る機会ともなった。

コロナ禍の終わりを見据え、中堅職員の育成の一環として、他園への見学研修を計画していきたい。

### ③キャリアアップ研修への参加促進

キャリアアップ研修への参加を積極的に推進することで、ほとんどの職員が1講座を受講完了することができた。引き続き、研修を受けられる体制を作りながら、参加を促していく。

## (総括)

当初の計画通り、今年度は変化した部分に対応したり、深めていったりする年になる。CCWの導入による書類の簡略化や利便性が増した一方で、年度途中で2名の退職者が出たことで、職員の負担感軽減が実感しにくくなってしまった。保育マニュアルの整備や研修などは充実してきているが、保育士の採用や育成が課題となる年であった。

## (次年度にむけて)

### ・発信力の強化

HPのリニューアルをおこない、対外的な情報発信を強化し、採用や園児獲得を狙う。

### ・働きやすい環境づくり

土曜日振替休日、時間給の導入を実施していく。

### ・職員育成体系の整備

働きやすさとして職員の育成制度を整備する。

### ・こどもの権利を尊重した保育

不適切な保育、こども家庭庁の設立、こども基本法の施行、子育て支援の重要度増などこどもの権利について、社会的に注目度や重要度が増している。改めて職員が学ぶ場を整えていく。

## (2) 保育の報告

保育の内容は安全性を最優先に、人権に配慮しつつ、落ち着いた、基本に忠実な良質の処遇となるよう全職員で取り組み、保育指針への適応にも取り組んできた。なお、保育の詳細については、「2022年度 保育の報告書」を参照願いたい。

## (3) 給食・食育の報告

別紙「給食・食育の報告」を参照願いたい。

(4) 保健の報告

別紙「保健報告」を参照願いたい。

(5) 苦情解決

苦情解決委員が招集される苦情はなし